

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873300283
法人名	医療法人 辻井循環器科内科
事業所名	グループホームつじい
所在地	東温市田窪 2 5 3 番地 2
自己評価作成日	平成 2 2 年 1 0 月 1 5 日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年11月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

健康管理が行き届いている。
職員がまじめに努力し、精一杯対応していて好感が持てる。
精神面・健康面をトータルでサポートしてくれる。
家庭的でさびしくなく、穏やかに過ごされている。
環境も良く落ち着いた雰囲気もあり、明るいホームである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

お天気のよい日は、毎日全員で事業所の外に出て、ラジオ体操をされている。週に数回、法人のデイサービスに出かけ、デイの利用者とともに、習字やレクリエーションを楽しまれている。
毎月の「事業所便り」とともに、利用者個々の「食事・排泄・入浴について」の様子等を手紙に書いて、ご家族に郵送されている。職員の異動については、運営推進会議で報告されたり「事業所便り」の中で新人職員の紹介をされている。毎月1枚、ご本人の表情がよくわかる写真と職員のコメートを付けて、利用者個々にアルバムを作成されており、ご家族の来訪時には、アルバムを見て普段の様子を知ることができるよう工夫されている。昼食の介助に、ほぼ毎日、来訪してくださるご家族もある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームつじい

(ユニット名) 東館1階

記入者(管理者)

氏名 辻井 浩子

評価完了日 H22年 10月 15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 一人ひとりの個性を尊重し、地域に密着した生活を支援していく事を理念とし、地域と密着したグループホームを目指す事をあげている。	
			(外部評価) 事業所では「共に生きる」「一人一人の気持ちを大切に作る」「きめ細やかな健康管理」「地域の交流を大切にする」という4つの理念を掲げ、この1年間は「理念をいかに現実化するか」ということについて考え「いつも笑顔で」「対話を大切に」等、職員個々が毎月、目標を決めて取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地方祭、敬老会、文化祭などの地域の行事に利用者と共に参加したり、来訪により交流を持っている。管理者や職員は、隣近所の方と気軽に声を掛け合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるように日常的に努めている。	
			(外部評価) 地域の方から野菜をおすそ分けいただくこともある。秋祭りには、事業所の敷地内に神輿が来てくれ、利用者は、ハッピーを来て迎え子ども達にお菓子を配られたようだ。中・高校生の職場体験等の受け入れもされている。毎月12日に行われている市内の「隻手薬師」の大祭に職員と出かける利用者もいる。	「地域の方達との交流は、利用者にとって良い刺激にもなるのではないか」又「地域のボランティアの方達にも来てもらいたい」と職員は話しておられた。事業所にとって、地域の方達とのつきあいに難しさもあるようだが「地域の交流を大切にする」との事業所理念にも沿って、地域の方達と事業所とが相互に理解や協力し合えるような関係作りに向けて、取り組みをすすめていかれてほしい。さらに、地域の方に事業所のことを知ってもらえるような取り組みは工夫できないだろうか。たとえば、事業所が力を入れて作成されている「事業所便り」を用いて、地域に発信されたり、運営推進会議をきっかけにして、地域との交流をさらに広げていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症に対する介護方法や理解についての相談にいつでものれるようにしている。ボランティアや研修の受け入れ体制がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議で出た貴重な意見を取り上げて、管理者や職員間で話し合いサービスの向上に活かしている。報告書は会議の参加者全員に配布している。	
			(外部評価) 民生委員、区長、ご家族の代表者等にも参加いただき、毎回、事業所の西館ユニットで14時から会議を開催されている。会議では、利用者の状況を報告されたり「事業所便り」を見ていただきながら活動を報告して、意見や感想をうかがっておられる。民生委員の方からは「行事を写真入りで載せたり、お知らせ等も記載してわかりやすいですね」と「事業所便り」について感想をいただいた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議などで交流を持っている。	
			(外部評価) 市の福祉課の方に、生活保護受給者のカンファレンスに同席していただき、ご本人の生活とケアについて話し合いに協力してもらっている。市社協や地域の方に事業所での汚物処理に使用するための古新聞をもらっている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員間で、精神興奮時や暴力行為の見られる利用者に対しての身体拘束をせず対応する方法について話し合い、常に身体拘束のないケアに取り組んでいる。	
			(外部評価) 玄関には、センサーを付けておられ、出入りするとチャイムが鳴るようになっている。管理者は、利用者の安全を守ることに特に注意されており、場合によっては「拘束が必要な時もある」と話しておられた。 利用者の安全を守りながら、今後もさらに利用者個々が自由に暮らせるよう、職員でケアの工夫を重ねていかれてほしい。外部研修を受講する機会を増やしたり、運営推進会議時に議題に挙げたり、他事業所の事例等も聞きながら、事業所の理念に沿ったケアサービスを実践できるよう取り組んでいかれてほしい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会に参加し学んでいる。 制度内容はミーティングなどで説明したり、内容書類を回覧して職員全体が把握できるようにしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修などで学び、報告書を作成して職員に内容を説明している。 内容書類を回覧して、職員全員が把握できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者、ケアマネージャー、職員が詳しく説明し、質問にも対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議の家族さん参加により、意見や要望を受けている。日常においては、利用者や家族さんからの意見や要望はいつでも受け付け、対応は管理者が行い計画担当者間で報告しあっている。	
			(外部評価) 毎月の「事業所便り」とともに、利用者個々の「食事・排泄・入浴について」の様子等を手紙に書いて、ご家族に郵送されている。職員の異動については、運営推進会議で報告されたり「事業所便り」の中で新人職員の紹介をされている。毎月1枚、ご本人の表情がよくわかる写真と職員のコメントを付けて、利用者個々にアルバムを作成されており、ご家族の来訪時には、アルバムを見て普段の様子を知ることでもできるよう工夫されている。昼食の介助に、ほぼ毎日、来訪してくださるご家族もある。	管理者は、毎月の便り等で、事業所の取り組みや利用者の様子をご家族に詳しく伝えることに努めておられ、ご家族は事業所のことや利用者のことをよくご存じのようだ。今後さらに、事業所のケアサービスの質を高めていくためにも、利用する側であるご家族のご意見や要望を聞かせてもらうような機会を作ってみてはどうだろうか。ご家族アンケートの集計表や外部評価結果等を用いてきっかけを作ったり、又、ご家族同士が意見交換を行うような機会も作ってみてはどうだろうか。いろいろな機会やきっかけを作って、ご家族から意見を引き出していかれてほしい。事業所の災害対策の取り組みについて報告されたり、重度化・看取り支援についてのご家族の不安や心配ごと等についても、聞き取るような機会を作ってはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行い、管理者と職員間で話し合いをする機会を設けている。朝の申し送り時に管理者が、それぞれの意見や提案を聞く機会を持つようにしている。	
			(外部評価) 外部研修で交流のあった他事業所の取り組みを参考に「班活動」の仕組みを事業所でも作っておられた。職員が主体となり、提案や工夫を採り入れ取り組みをすすめておられ「安全班」は、事業所内の「危ないと思われる場所」等をチェックして改善を図り「レクリエーション班」では、日曜日に行っている「お茶会」の内容をさらに工夫して、利用者に楽しい時間を過ごしてもらえるよう取り組まれていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員同士が協力し合い、時には競い合って働けるような勤務体制を心がけている。職員それぞれの得意な分野が活かせるようにしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内外部の研修会に積極的に参加し、報告会を設けている。研修資料は全員が目を通し、レポートを書いている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 各種講習会や勉強会に積極的に参加し、報告会を設けている。外部研修の受講時に同業者と交流を持ち、他のホームの取り組みを参考にしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) まず初めに本人の話を良く聞き相槌を打ち、こちらも理解していることを分かってもらうようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者、ケアマネージャー、職員と家族間で綿密にモニタリングし、家族の方の不安や心配ごとや要望を聞きとるようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面接において十分に話し合い、利用者や家族さんの意向に対応するようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>料理の味付けや畑仕事など、利用者に色々教えていただいている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の生活状況を家族さんにお伝えしたり、話をすることでコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、本人を支える関係に努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の生活歴を本人や家族さんに聞き、行事に活かすようにしている。神社のお参りなども行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ご本人から行きたいところ等の希望を聞いた際には、ご家族に伝えるようにされており、利用者は、お墓参りや美容室にご家族と出かけておられる。又、月に1度、ご自宅に戻ってご家族と過ごしたり泊る方もいる。ご本人の状態によっては、ご家族からの手紙を職員が代読されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 各人の性格や状況を把握し、コミュニケーションがとれるよう導くようにしています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービスが終了しても、家族さんやご本人と連絡を取りあい、いつでも相談できるようにしています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人が意思表示できる場合は希望を聞き、できるだけそれに沿うようにしています。本人に意思表示できない場合は、家族さんの希望を取り入れています。	
			(外部評価) 入居時に、ご本人の生活歴等の情報をフェースシートにまとめておられる。「アセスメントシート」は、年1回、更新して利用者個々の現状の把握に努めておられる。職員は、利用者の行動に「どうしてだろう」と考えるよう心がけ、又「利用者のしたいことを支援していきたい」と話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族さんや本人にこれまでの事を聞き、それを職員が把握するようにしています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 各人のADL表やフェースシートに目を通し、把握をしています。毎日の経過表を基に会話や発言を知ることができる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1回ケアプランを見直し、家族さんにも来ていただきカンファレンスを行っています。 身体の状態が変化した時は、その都度家族さんに連絡を行っています。	
			(外部評価) 計画は、入居当初は1ヶ月で見直し、その後は基本的に3ヶ月毎に見直すようにされている。ご家族にも声をかけてカンファレンスに参加していただいております。かかりつけ医である母体病院の院長も同席して、ご本人の暮らしとケア、健康管理について話し合っておられる。カンファレンスに参加することが難しいようなご家族には、電話等で要望を聞くようにされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 経過表の記入やケアプランのチェックを毎日行っています。 ミニカンファレンスで3ヶ月毎に話し合い、ケアプランの見直しをしています。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 本人や家族さんの要望を、カンファレンスでとり入れるようにしています。デイサービスの利用や、地域行事の参加も行っています。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 民生委員・消防署・警察署・地域包括支援センターなどの機関と協力をしながら支援をしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月2回の往診があります。 他に、外科・皮膚科など必要な事は受診、往診をお願 いしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者は、母体病院をかかりつけ医とされている。利 用者は、月2回の往診と年1回、定期健診を受けて 「きめ細やかな健康管理」ができるよう努めておられ る。整形・眼科等受診時は、ご家族が付き添うようにな っている。義歯の調整や口腔内のトラブル等は、訪 問歯科を利用されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者が看護師のため、気付いた事はすぐに相談し対 処しています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入院時は、情報を文書や電話で提供しています。面会 や、家族さんから状況を把握しています。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時は、情報を文書や電話で提供しています。面会 や、家族さんから状況を把握しています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>家族さんの希望を聞き、主治医やケアマネ、職員間で 話し合いをしています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族さんの希望を聞き、主治医やケアマネ、職員間で 話し合いをしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居時に「事業所で終末期を過ごし、看取りまで支援 できる」ことをご家族に説明されており、ほとんどの ご家族は「事業所で最期までお願いしたい」と希望さ れている。開設以来、多くの利用者の看取り支援を経 験されており、管理者は、職員に「後悔のないよう に、利用者にしていただくことを行うこと」を話しておられ る。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時のマニュアルがあり、職員全員が目を通し学習している。管理者から定期的に指導がある。AEDの設置に伴い、使用方法の説明を受けており、AEDの点検を毎日行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防火訓練を定期的に行っている。緊急連絡網を作り、全員に配布している。日中と夜間別の緊急連絡網の作成を考えている。 (外部評価) 避難訓練は、年2回実施されており、夜間を想定した訓練も行われた。今春にスプリンクラーと、消防署への自動火災通報装置を設置され、通報訓練は、各ユニット毎に毎月行われている。事業所内には、AED(自動体外式除細動器)が用意されており、すぐに持ち出せるようショルダー式になっていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 常に気配りを行い、丁寧な言葉づかいを心がけている。特に排泄面では気を付けている。又、職員同士でお互いに注意し合うようにしている。 (外部評価) 職員は「感謝する気持ちを大切に、利用者にとありがとうという心で接する」又、一人ひとりの利用者として「平等にコミュニケーションの時間を取る」ことを心がけていると話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 「受容」の姿勢を心がけ、利用者さんの希望に耳を傾け出来ることを見極め、ケアプランにも盛り込んで日課として取り組んでいる。些細なことでも毎日続ける事で、満足感を持っている。職員がすぐに答えを出すのではなく、うまく本人が決定できるような声かけや場面を作っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事や入浴、就寝など一人ひとりのペースに合わせて支援している。外出や買い物などの希望も、その都度支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者さんの希望に添って対応している。家族さんと美容室に出かけたり、家族さんが散髪されることもある。又、月に1回美容師が来られる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 1日の献立を発表したり、食べたい物や調理方法などを利用者さんに聞いたりしている。職員も一緒に食事を摂り、感想などを聞き次の献立や調理方法に活かしている。食事の準備、片付けを利用者が手伝ってくれる。ユニット毎に検食表を付け、より良い献立作りに努めている。	
			(外部評価) 母体病院の栄養士が立てた献立に沿って、時には利用者も一緒に食材等の買い出しに行かれて、事業所で食事作りをされている。事業所の畑で採れた野菜やおすそ分けいただいた野菜がある時には、献立を変更して調理することもある。事業所では、衛生面のことや利用者間でのトラブルを避けるために、職員が調理等、食事作り全般を行うことにされている。日曜日に行っている「お茶会」では、職員が手作りしたおやつと、利用者にコーヒーか紅茶を選んでいただき、楽しいひと時を過ごしてもらえるよう取り組んでおられる。	利用者の中には「家事がしたい」「お手伝いがしたい」等、希望する方もおられるようだ。事業所が目指す「共に生きる」「一人一人の気持ちを大切に」という理念に沿って、食事作り一連の流れの中で支援を工夫できることはないだろうか。利用者個々の「できること」「できそうなこと」等のアセスメントを行ったり、利用者間を取り持ちながら、個々が食事を楽しむことができるような支援に向けて、取り組みを拡げていかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人別に水分・食事摂取表を付け、1日を通して摂取量が確保できるよう職員が把握できるようになっている。水分は1日1,200mlの摂取を目安にしている。食事量が少ない場合は、栄養価の高い食品や飲み物をお進めしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 利用者さんの状態に応じた口腔ケアを行っている。歯ブラシ・モアブラシや舌ブラシ・ガーゼなど、それぞれに合った物を使用し自分で出来ない方への支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			プライバシーには十分配慮し、一人ひとりの排泄パターンを知り必要に応じて声かけやトイレ誘導を行い、排泄の支援を行っている。	
			(外部評価)	
			時間毎に声かけをしたり、誘導しながら、利用者がトイレで排泄できるよう支援されている。調査訪問時、ご利用者同士で「トイレ一緒に行こや」と誘い合っており、トイレに行かれている様子がうかがえた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排便の確認を行っている。 食事や水分、運動など個人個人に応じた取り組みを行っている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入浴前に声かけを行い、本人の希望に添えるようにしている。週3回の入浴を行っているが、本人の希望があればいつでも入って頂いている。	
			(外部評価)	
			毎日入浴できるよう準備して、利用者個々に、週3回は入浴できるよう支援されている。午後から入浴時間となっており、毎日入る方や湯船で温まりながら、歌を歌うような方もおられる。入浴を嫌がる方には、声のかけ方やタイミングを工夫し、入浴できるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			一人ひとりの体調に合わせ、居室で休息をとる時間を決めている。また、その日の状態によって対応している。夜間眠れない人がいらしたら、その要因を探り眠れるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) かかりつけの医師の説明を受けている。服薬の必要性を理解し、支援できている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人さんをしっかりアセスメントして、好きな事楽しい事を知り支援している。また、スタッフ全員でその事を共有している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は里に体操や散歩に出かけている。また、その日に「散歩に行きたい」と意思表示されると対応できている。地域での行事にも家族さんや地域の人々に協力して頂き参加している。	
			(外部評価) お天気のよい日は、毎日全員で事業所の外に出て、ラジオ体操をされている。週に数回、法人のデイサービスに出かけ、デイの利用者とともに、習字やレクリエーションを楽しまれている。	「一人一人の気持ちを大切にする」ことを目指して取り組んでおられる事業所でもあり、利用者個々の行ってみたい場所等を探り、出かけてみるような取り組みもすすめていかれてはどうか。又、管理者は、限られた職員の人員と事業所が車を持たれていないこと等から、外出の難しさを感じておられるが、近くで楽しめるところを開拓されたり、協力してくださる方を募る等、利用者個々が、社会のいろいろな方とかかわりを持って暮らし続けられるよう、支援に努力していかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が使えない場合は、職員が手助けしたり代わりに買い物に行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書きたいと言われる利用者さんは、職員が手伝いながら書いて出されている。希望があれば、その都度電話をしてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた飾りを職員や利用者で作って飾っている。	
			(外部評価) 事業所外の日当たりのよい場所に、いくつかのベンチが置かれてあった。敷地の一角には畑があり、先日、利用者とともにじゃがいもの収穫をされたようである。各ユニット居間には、加湿器が設置されており、湿度や室温に気を付けておられる。又、清潔に心がけ、床等の掃除もきれいにされている。職員と一緒に作った貼り絵が飾られていたり、ご家族からいただいた季節の花が生けられているユニットもあった。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 本人の好きなようにして頂いている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご自分が今まで使っていた物を置いたり、写真を飾ったりして配慮している。	
			(外部評価) 位牌や遺影を持ち込んでおられる方や花の鉢植えを置き、水やり等、世話をされている方もある。系列デイサービスで書いた書道作品を壁一面に貼っておられる方も見られた。テレビを持ち込み、お好きな番組を楽しまれる方や読書をされる方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの状態に合わせて本人が落ち着いて過ごせるように配慮し、職員が常に見守りを行っている。	